

ムカシの競馬を読む

平成17年・中京競馬場
高松宮記念
優勝馬：アドマイヤマックス

© JRA



第116回 10年・20年・30年前の3月



いまから10年前、平成17年の3月はアドマイヤマックスが高松宮記念を勝った月にあたる。2歳時に1800m以上の重賞（アドマイヤマックスの場合は東スポ杯）を勝つ馬が後にスプリントG1を勝ったケースはキングヘイローに続いて2例目。昔と違い番組選択の幅が広がつたことを象徴するような成功例だ。

しかしこの月、中央競馬の話題ということで最も大きかったのはこの出来事だろう。平成17年3月11日付のデイリースポーツから引用する。

「ジョッキー人生に悔いはない。岡部幸雄騎手の引退会見が10日、東京・港区のJRA本部で行われ、引退を決意するまでの経緯や38年間に及ぶ騎手生活を振り返った。今後に関しては白紙。JRAは偉大な功績を称え、20日の中山競馬第12レースを『岡部幸雄騎手引退記念』とし、終了後に引退セレモニー

をする」と発表した」

会見で岡部騎手は、2月19・20

日の開催でイメージしたように体

が動かないことを自覚し、引退を

決意した旨語った。最終開催は20

日・東京12Rのウインドヴェイン号

で11着。最後の勝利となつたのは1

月23日の中山10R・ダイワインデ

アナだった。

岡部騎手の引退記念レースはJ

Rから発表された通り3月20日

の中山競馬で行われた。「岡部幸

雄騎手引退記念」は最終レースで

ありながらオーブン特別として組

まれ、2番人気のアルビレオ号が優

勝。その後バドックで後輩騎手たち

総出演の引退セレモニーが実施さ

れた。

岡部騎手が去つたその頃、北関

東ではひとつの競馬そのものが無くなろうとしていた。15日付のスポニチから。

「栃木県宇都宮競馬は14日、最終開催日の10競走を行い、56年間の

歴史に終止符を打つた。通常開催日の3倍近い6688人が詰めかけ

る中、午後4時に最後のレース10

R『とちぎ大賞典』がスタート。1

周目のスタンドでは自然と拍手が

わき起り、1番人気のフジエヌミ

リオーネが最終直線で抜け出すと

声援は最高潮に達した。閉幕セレモニーの後には馬場が開放され、フ

リオーネがサインや記念撮影などで交流し、別れを惜しんだ」

記事中にあるフジエヌミリオーネはこのあと南関東に転じたが、その後は荒尾から福山と移籍。最後

の2場も廃止されたことを考へる

と、なんとも複雑な気持ちになる。

この廃止時に注目されていたのが、内田利雄騎手の動向。地方競馬初の地区に所属しないフリー騎手として活動する旨を発表していたが、実際にそれが可能かどうかは発表されていかなかった。幸い、岩手を皮切りに受け入れる地区が現れ、内田騎手は現役を続行。現

ムカシの競馬を読む



1970年東京生まれ。競馬ライター。サラブレ、大阪日刊スポーツなど各種媒体に寄稿中。
須田鷹雄

すだかお



1をすると発表した」

会見で岡部騎手は、2月19・20

日の開催でイメージしたように体

が動かないことを自覚し、引退を

決意した旨語った。最終開催は20

日・東京12Rのウインドヴェイン号

で11着。最後の勝利となつたのは1

月23日の中山10R・ダイワインデ

アナだった。

岡部騎手の引退記念レースはJ

Rから発表された通り3月20日

の中山競馬で行われた。「岡部幸

雄騎手引退記念」は最終レースで

ありながらオーブン特別として組

まれ、2番人気のアルビレオ号が優

勝。その後バドックで後輩騎手たち

総出演の引退セレモニーが実施さ

れた。

岡部騎手が去つたその頃、北関

東ではひとつの競馬そのものが無くなろうとしていた。15日付のスポニチから。

「栃木県宇都宮競馬は14日、最終開催日の10競走を行い、56年間の

歴史に終止符を打つた。通常開催日の3倍近い6688人が詰めかけ

る中、午後4時に最後のレース10

R『とちぎ大賞典』がスタート。1

周目のスタンドでは自然と拍手が

わき起り、1番人気のフジエヌミ

リオーネが最終直線で抜け出すと

声援は最高潮に達した。閉幕セレモニーの後には馬場が開放され、フ

リオーネがサインや記念撮影などで交流し、別れを惜しんだ」

記事中にあるフジエヌミリオーネはこのあと南関東に転じたが、その後は荒尾から福山と移籍。最後

の2場も廃止されたことを考へる

と、なんとも複雑な気持ちになる。

この廃止時に注目されていたのが、内田利雄騎手の動向。地方競馬初の地区に所属しないフリー騎手として活動する旨を発表していたが、実際にそれが可能かどうかは発表されていかなかった。幸い、岩手を皮切りに受け入れる地区が現れ、内田騎手は現役を続行。現

の2場も廃止されたことを考へる

と、なんとも複雑な気持ちになる。

この廃止時に注目されていたのが、内田利雄騎手の動向。地方競馬初の地区に所属しないフリー騎手として活動する旨を発表していたが、実際にそれが可能かどうかは発表されていかなかった。幸い、岩手を皮切りに受け入れる地区が現れ、内田騎手は現役を続行。現